

## 社会教育委員功労者表彰

9月10日(金)、県立社会教育総合センターで開催された福岡県社会教育研究大会において、福岡県社会教育委員功労者表彰式が行われ、長年の社会教育の功績に対して、東峰村社会教育委員の岩田謙二さんと和田輝子さんが

表彰されました。岩田さんは、児童を対象とした農業体験の指導や小学生集団宿泊事業の推進に尽力され、体験活動を通じた青少年の育成に当たられ、村の社会教育の振興に貢献されています。また、和田さんは、10年以上の長きにわたり社会教育委員として活動され、特に小学生を対象にした新春書初め大会の運営について、書道師範としての技術と知識を生かして、子どもたちの指導に当たって頂いています。



## 東峰 Jr. みらい塾 秋まつり出店

11月7日(日)に行われた東峰村秋まつりに『東峰 Jr. みらい塾』で出店をし、販売体験をしました。今回は、皆で育てたもち米40kgを量り売りしましたが、子どもたちもビックリする程あっという間に売れてしまいました。また今回は、販売体験をしよう!ということで、レジャー用品を用いて子ども達が値札を書き、商品に貼り付けて、接客・販売を行いました。



どのようにしたら売れるのかを子ども達なりに考えて、「キャンプに便利ですよ!お安く出しています!」などと看板を作成したり、一生懸命に声掛けをして取り組んでいました。また、隣のテントのレクリエーション協会の焼き鳥の販売のお手伝いをし、手順を習いながら「いらっしゃいませ〜!」と元気よく声を出していました。売れると、とても嬉しそうにしていたのですが、一生懸命に頑張った甲斐あって、感動が味わえてよかったと思います。

地域行事に参加することや、自分たちの手で販売することを体験して、育てること、働くことの大変さを身をもって実感できたと思います。地域の方との交流もでき、とても良い経験ができたと思います。ありがとうございました。



## ~アンビシャス広場事業~ 中学生芸術鑑賞ツアー

11月13日(土)にアンビシャス広場事業として、東峰中学校3年生の参加者11名で、芸術鑑賞ツアーに行きました。今年は、太宰府市の九州国立博物館にて誕生!中国文明を見学し、その後、筑紫野市のイオンモールにて映画鑑賞を行いました。

中国文明展では、王朝の誕生や技と美の誕生を見学し、古代中国の生活を学ぶことができました。映画では、話題の映画を集中して鑑賞しているようでした。

受験で頑張っている中学生にとって良いリフレッシュになり、今後の勉強のエネルギーになったのではないのでしょうか。





# ひろば

## 女性学級 調理講習「おもてなし料理」

12月1日(水) いずみ館にてNPO 法人「栄養・ちっこ」の家永景子先生より「夏のおもてなし料理」に続き「冬のおもてなし料理」を教わりました。是非お正月料理の一品に加えてください。



▲鯛の塩釜の調理風景

### <松風焼き>

【材料】	
鶏挽肉 … 400 g	
生椎茸 … 4 枚	
茹で筍 … 100 g	
人 参 … 100 g	
小松菜 … 100 g	
パン粉 … 2/3 カップ	B
卵 … 2 個	
砂 糖 … 大さじ2	
醬 油 … 大さじ2	
塩 … 小さじ2/3	
白ごま … 大さじ1.5	
青のり … 小さじ1	



◀ 完成した料理  
真ん中上段の料理が



▲塩釜から中身を取り出します

【作り方】
①椎茸・筍・人参はみじん切りにする。小松菜は小口切りにする
②ボウルに鶏挽肉を入れて、①とBを加えてよく混ぜ合わせる
③耐熱皿に②を入れ、中心を直径7センチの円状にあけ、なるべく平らな円形状にする
④表面の半分に白ごまをふり、残り半分に青のりをふり、ふんわりとラップをかけ、レンジで5～8分加熱する
⑤ラップをはずし、新しいラップをふんわりとかけなおし、粗熱をとる
⑥皿の中で扇型に切り分け、取り出して盛りつける

## あじわい学級 ～ 松尾城跡周辺散策～



11月26日(金) あじわい学級では、教育委員会の日高さんにガイドをお願いし、松尾城跡から行者の森そして一本杉2号窯跡へと散策をしました。松尾城跡に登り説明を聞きながら、しばし眼下の小石原を眺め当時に思いを馳せました。また行者堂や行者杉、国境石などを見てまわりました。



▲松尾城跡からの眺め (写真は5月撮影)

大変寒い日でしたが、村の豊かな自然と貴重な文化財に触れ、改めて地域の素晴らしさを感じました。今後も地元の歴史や良さを学ぶ活動をしていきたいと思いました。

## 図書室所蔵雑誌の配布について

宝珠山公民館図書室所蔵の平成22年6月以前発行分の月刊誌・週刊誌「レタスクラブ」「Commo」「ゲットナビ」等、小石原公民館所蔵の「今日の料理」「趣味の園芸」「おしゃれ工房」等、廃棄分の一般書、児童書をご希望の方に配布します。受付期間は各公民館で、1月末日までです。ぜひ御利用ください。

## 『らぶすほ東峰』次回予告

	場 所	日 に ち	備 考
健康体操『ヨガ教室』	いずみ館多目的ホール	1月18日(火)	会員…無料 非会員・団体会員…1回800円 *マットはこちらで準備します。



## 第6回グラウンドゴルフ大会



11月28日(日)に宝珠山グラウンドにおいて、体育指導委員会及び村公民館主催で第6回グラウンドゴルフ大会が開催されました。当日は曇りで肌寒い日でしたが、各自治公民館から36チーム200名を超える選手が参加され、熱戦が繰り広げられました。

今回優勝の大行司Aチームは、16ホールを回った5人のスコアの合計が201打でした。昨年度の優勝チームの218打を大きく上回り、技術の高いことに驚きました。グラウンドゴルフが徐々に浸透してきた結果だと思えます。

近年、自らの生活に積極的にスポーツを取り入れようとする機運が高まっていますが、グラウンドゴルフは子どもからお年寄りまで幅広く取り組むことができる競技です。皆さんの健康増進と技術向上のためにも、今から始めてみてはいかがでしょうか! 公民館ではグラウンドゴルフの用具(スティック、ボール等)の貸出(無料)も行っていますので、お気軽にお声かけ下さい。



【団体戦の部】		
優勝	大行司 A	201 打
準優勝	東福井 A	210 打
3 位	西福井 C	218 打
【個人の部】		
【最小ストローク賞】		
1 位	井上豊己 (岩屋)	32 打
2 位	熊谷鉄雄 (東福井)	34 打
3 位	伊藤英紀 (竹)	35 打
【ホールインワン賞】		
・井上政徳 (鼓南)		
・川村忠行 (上福井)		
・小田五月 (西福井)		
・伊藤英紀 (竹)		
・仲道 勇 (東福井)		



▲団体優勝の大行司Aチームを含む選手の皆さん

## 12月人権週間 人権教育講演会

平成22年12月3日(金)人権教育講演会を保健福祉センターいずみ館で開催しました。今回は、NPO法人箱崎自由学舎 ESPERANZA(えすぺらんざ)代表の小田哲也さんを講師に迎え、『生きる力 本当に大切なもの』と題して講演いただきました。

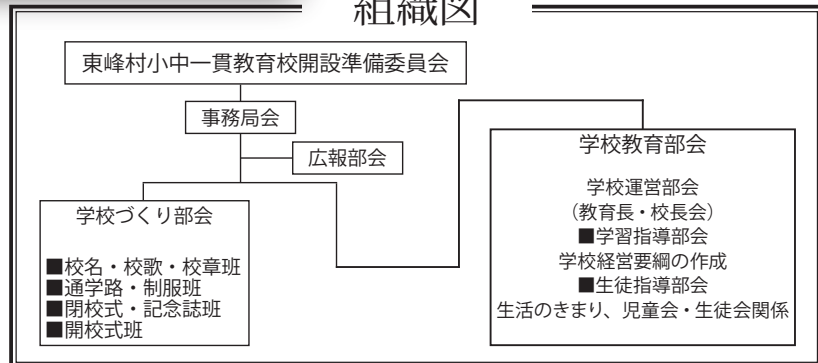
青年海外協力隊員として南米コロンビアの少年院での3年間の活動や国際緊急援助隊医療チームとして今年1月ハイチ大地震復興支援の活動、学校に行かなくなった中高生の居場所づくりの活動などをお話していただきました。開発途上国は、経済的には貧しく、子どもたちの学習環境や生活環境も悪い国が多いけれども、そんな中で精一杯生きている子どもたちがいること。開発途上国で生活して初めて分かる途上国の良さや、日本では当たり前なことが途上国ではそうでないこと、日本人が忘れてきている心の豊かさ、人として本当に大切なものとは何かを問いかける講演会でした。

小田さんは、「学校に行かない(行けない)子どもたちには、それぞれ理由があるその子を理解しようとする大人や支える大人が必要」と伝えてくれました。



▲理解することが大切と語る小田先生

## 組織図



▲今回の開設準備委員会は学校づくり部会の上位組織になります。

### ◆開設準備委員会◆

#### 【11月30日開催 会議報告】

11月30日(火)に学校づくり部会の上部組織である「第4回小中一貫教育校開設準備委員会」を開催しました。当日は福岡教育大学より小泉教授をお招きして、今後のための助言などもいただきました。

### ◆報告・確認事項

#### ①学校づくり部会

- 一貫校としての愛称は「東峰学園」、正式名称は「東峰村立東峰小学校」、「東峰村立東峰中学校」で確認。
- 東峰学園校歌のデモテープを試聴。
- 小学生の制服は制定しない。中学生の制服は現行どおり。合服、防寒服の制定は学校に一任。
- 開校式について、宝珠山小は3月19日(土)、小石原小は3月24日(木)
- 開校式の日程調整について。

#### ②学校教育部会

- 学校運営部会で学校経営要綱作成基本方針を受け、学習指導部会で具体的な作成作業に入っている。
- 学校教育目標については、22年度より3校共通の目標を設定している。  
「郷土を愛し、心豊かでたくましく生きる児童・生徒の育成」

### ◆提案事項

#### ①校章について

- 学校づくり部会より提案を行い、東峰小・中学校の校章と校章の説明が承認されました。これにより、正式に東峰小・中学校の校章が決まりました。新校章の発表は、東峰学園の開校式で行う予定です。

#### ②一貫校の名称について

- これまで、「東峰村小中一貫教育校」という名称を使用していましたが、一貫教育校と一貫校で表記の揺れがあることや、開校予定の東峰学園では「東峰村小中一貫校」という名称の方が、よりその実態を良く表しているということなどから、今回の開設準備委員会で改めて検討し、『東峰村小中一貫校 東峰学園』とすることを確認しました。

### 一貫校 (東峰学園の概念)

小・中学校が同じ敷地内で、共通の教育目標のもと、9年間を一貫した教育課程によって教育活動をおこなう概念。

